

再評価実施事業調査書

番号		事業名	住宅市街地盤整備事業		路線又は箇所名等			二級河川 南白亀川	
事業所管課		住宅課			事業主体			千葉県	
事業化年度	平成 5 年	用地着手年度	平成 5 年	工事着手年度 工事終了(認可)年度	平成 5 年度 平成 22 年度	再評価の理由	⑥		
費用便益比 B/C	1.7	総費用	9.7 億円	総便益	16.7 億円	基準年	平成 19 年度	供用開始年度	平成 22 年度

事業概要

(事業目的)

南白亀川水系では昭和 23 年度から河川改修事業に着手し、中・下流部では河道改修がほぼ完成している。しかし、上流部については一部区間を除き未改修であり、上流部沿川の市街化に伴う流出増により、近年、宅地や農地の浸水被害が顕著となっている。特に、平成元年 8 月洪水においては 273 戸(うち床上 3 戸)、平成 8 年 9 月洪水では 58 戸(うち床上 8 戸)、平成 16 年 10 月洪水では 34 戸の家屋浸水被害を生じており、現在も上流区間について、河床掘削や堤防嵩上げ等の河川改修を継続実施中である。

このような背景から、南白亀川上流部沿川の早急な治水安全度の向上を目的とし、住宅市街地盤整備事業による整備の促進を図っている。

(主な実施内容)

改修延長 4,160m、築堤工(一部、護岸工)・・・3,470m、橋梁・・・9 基、樋門・樋管・・・12 基
堰・・・4 基、用地買収 49,400m²

事業の進捗状況

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	進捗率(%)
全体	59.00	49.75	84.3
工事	47.61	38.46	86.6
用地	11.39	11.29	99.1

社会経済情勢等

① 流域状況

本流域は、上流の大網白里町市街地を中心に都市化が進展しており、治水安全度の向上が急務である。氾濫区域には、大網白里町の市街地の他、国道 128 号、JR 東金線等を含み、水害発生時の被害、社会的影響が極めて大きい。

② 主な水害状況(水害統計より)

・平成元年 8 月 1 日(台風 12 号)

床上浸水 3 戸 床下浸水 270 戸 浸水面積 3.73ha

・平成 8 年 9 月 22 日(台風 17 号)

床上浸水 8 戸 床下浸水 50 戸 浸水面積 7.87ha

③ 投資効果

浸水戸数 約 33 戸, 農地面積 約 69 ha

④ その他

(関連事業)

・首都圏中央連絡自動車道

(地域の協力体制)

南白亀川流域委員会, 南白亀川改修期成同盟会

(その他)

対応方針(案)

継続

事業概要図

番号		事業名	住宅市街地盤整備事業	路線又は箇所名等	二級河川 南白亀川
----	--	-----	------------	----------	-----------

<計画平面図>



河川名	指定延長
南白亀川	17.5km
内谷川	6.2km
赤目川	7.7km
小中川	8.1km

凡例	
	千葉県管理区間
	準用河川等

<標準横断面図>



